

(令和7年度予算分) 地域少子化対策重点推進交付金 実施計画書 (市町村分) 個票

自治体名 徳島県藍住町
本事業の担当部局名 藍住町教育委員会社会教育課

事業メニュー	ライフデザイン・結婚支援重点推進事業						
区分	重点メニュー						
関連事業メニュー	1.2.2 若い世代の描くライフデザイン支援						
個別事業名	赤ちゃん先生クラス実施事業	新規/継続 (一般財源での 実施も含む)	継続				
実施期間	令和8年4月1日	～	令和9年3月31日	事業開始年度	令和1年度		
総事業費(A)(円)	1,079,100	寄付金その他の収入予定額(B)(円)	0	差引額(A-B)(円)	1,079,100		
対象経費支出予定額(円) ※補助率を乗じる前の額	1,079,100						
費用内訳 (円)	区分	諸謝金	賃金	報償費	旅費	需用費	役員費
	総事業費	0	0	0	0	0	0
	対象経費支出予定額	0	0	0	0	0	0
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0	0	0
	区分	委託料	使用料及び賃借料	負担金	補助金	計	
	総事業費	1,079,100	0	0	0	1,079,100	
	対象経費支出予定額	1,079,100	0	0	0	1,079,100	
対象外経費支出予定額	0	0	0	0	0		
○	※上記対象経費支出予定額に本交付金の対象外となる経費は含まれていない。						
自治体における少子化対策の全体像及びその 中での本個別事業の位置付け	<p><自治体における少子化対策の全体像>※全事業共通 本町の出生数は減少傾向にあり、2024年には81人の自然減となっており、年少人口の割合も年々減少している。子育て世代や将来親になる世代が希望する子どもの数を持てるようにするため、妊娠期から子育て期までの相談業務や不妊治療に対する助成など、妊娠・出産・子育てまで切れ目のない支援を行い、子育て世代が抱える不安の解消を図る。また、保育所や放課後児童クラブにおいて、子どもの受け皿を安定的に確保し、保育士不足や待機児童の解消に取り組む。併せて就業と子育ての両立支援や女性が働きやすい環境づくりを行う。</p> <p><本個別事業の位置付け> 赤ちゃんとの触れ合いを通して命の大切さや育児について体験的に学ぶことで、未来を担う世代の妊娠・子育てへの理解促進を図る。 また、この体験を通じていじめや自殺を防止し、自分も他者も大切にする心を育む。</p>						
個別事業の内容	番号	項目	内容				
	1	赤ちゃんとの触れ合い体験事業	ママの働き方応援隊により各小中学校へ赤ちゃんとお母さんの母親を派遣してもらい、小学校2年生と中学校3年生を対象に、赤ちゃんとの触れ合いを通して命の大切さや育児について体験的に学ぶ機会をもつ。体験授業を数回実施することで、回を追うごとに赤ちゃんへの愛着が形成され、自分も他者も大切にする心を育み、妊娠・子育てへの理解を促進を図る。				
<p><過年度の本個別事業で浮かび上がった課題の分析及びそれに対する取組(ステップアップ)> ・単発実施ではなく、回数を重ねることで赤ちゃんへの親しみや、子育てへの理解がより深まるため、学校の希望通りの実施回数を提供できるようにする。</p>							

少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※全事業共通	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	出生者数		人	300(R11年度)	275(R6年度)
参考指標 ※全事業共通	項目		単位	直近の実績値(時点)	
	合計特殊出生率			1.58(R4年)	
	婚姻件数		件	170(R4年)	
	婚姻率			4.7(R4年)	
個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	番号	項目			
		(アウトプット)			
	①	参加率(参加人数/参加予定者数)	%	85(R8年度)	90(R7年度)
	②				
	③				
	④				
	⑤				
		(アウトカム)			
	①	交付金事業に対する事業対象者(住民等)の満足度(該当事業に限る。)	%	---	---
	②	希望どおりの結婚に向けて後押ししてくれたと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	---	---
	③	結婚、妊娠・出産、子育てに前向きになったと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	---	---
	④	命の大切さへの理解が深まったと答えた参加者の割合	%	75(R8年度)	80(R7年度見込み)
	⑤	赤ちゃんを身近に感じる事ができたと答えた参加者の割合	%	75(R8年度)	75(R7年度見込み)
⑥					
⑦					
⑧					